

寒い冬も終わりに近づき、いなさ会館の桜の開花を心待ちにする季節がいよいよやってきます。本日は多くの来賓の方々のご臨席を賜り、私たちのためにこのような盛大な式を開いていただき、とても嬉しく思います。

今私が、このようなところにたっていることは、幼いころの自分を思い返すと不思議なことです。人見知りや激しく、友だちを作るのが苦手で、幼稚園に行くとき母と別れるのが嫌でいつも泣いていた私は、幼稚園・小学校・中学校と、よくいじめられていました。そんな私が、人前で話す立場に立てるほど変わった理由の一つは、ここまで育ててくれた両親の存在もありますが、同時に、高校生活のお陰だとも思っています。

ここでは、その中でも私をかえた二つの本校での経験を振り返ってみたいと思います。一つは、入部していた吹奏楽部での活動です。この三年間、練習の厳しさにくじけそうになったとき私を支えてくれたのは、同級生の仲間たちでした。また、熱心に指導していただいた顧問の先生。今日、ある達成感を持ってこの場に立っていることができるのはそういった人たちのおかげです。ありがとうございました。

二つ目は、二期通しての生徒会活動です。私が会長として立候補したのは、生来の引っ込み思案な性格をなんとか変えたいと思ったのが大きな理由でした。はたして、生徒会長としての経験は波乱に満ちたものとなり、様々な場面で様々な経験を積むことができたのでした。その経験は、私を変えてくれたのでした。今こうしてみなさまの前で答辞を読んでいるのもその経験のおかげなのです。

～略～

これから一・二年生も受験生になる時がくると思います。みんなが志望校に行けるわけではないのが現実です。後悔しないように毎日コツコツ勉強してほしいです。そして、この大社高校にはたくさんのチャンスが散らばっています。それをたくさん拾った者勝ちなので、自分の可能性を広げて行ってください。

辛いことの方が多かったように思える三年間でしたが、今振り返ればとても楽しかったです。あっという間に過ぎていった三年間だったけれど、楽しむことは楽しんだかなあとと思います。

～略～

そして最後に、卒業生のみなさん。私と関わっていない人も、私にとって大切な思い出の一部です。私たちにはこれからもっと辛いこと苦しいことが待っていると思いますが、大社高校での三年間を思い出し、夢に向かって進んで行きましょう。みんなに出会えて時間を共有できたことは本当に誇るべき人生の宝物です。ありがとうございました。またどこかで会いましょう。

さて、私たちが夢に近づく一歩を、踏み出す時となりました。これからたくさんの経験を積む中で、最後まであきらめずにやりたいことをやりきる、まっすぐでブレない人間であり続け、夢を叶えてみせます。今まで私たちに関わってくくださった全ての方々に感謝するとともに、大社高校のますますの発展をお祈りし、答辞といたします。

平成二十九年三月三日 卒業生代表 神田彩加